



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 8日 日曜日	試合コード	#69
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	熊本県立総合体育館

結果	A	スコア		B
	キューバ	45	前半	25
25-16				
後半				
20-9				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7m c				
—				
—				
CUB			AUS	

戦況	見出し	キューバが初勝利を掴む
	前半	初勝利を目指す両チームの試合は、AUSのスローオフで始まった。AUSはNo.5のシュートで先制すると、CUBもNo.18の速攻ですぐさま取り返す。その後CUB、AUS共に退場者を出す。CUBはNo.9とNo.55の鋭いフェイントプレーで得点を重ねるのに対し、AUSはNo.8を中心に攻撃を組み立てる。10分を過ぎてCUBが4点リード。中盤に入ると、CUBはNo.18がブラインドからのシュートやロングシュートなどで得点を重ねる。しかし、ここでNo.18が退場し、AUSはこの7mスローを決める。点差を縮めたいAUSであるが、CUBはNo.55の1対1の突破や速攻などで6点差にする。AUSが17分過ぎにタイムアウトを申請。CUBはNo.34が失格となる。ここでもAUSNo.8が7mスローを確実に決めて5点差に縮める。一人少ないCUBではあるが、No.55の突破やNo.18のロングシュートなどで得点を重ね、その差を徐々に広げていく。終盤、AUSはNo.24、18のロングシュートで反撃するが、CUBが9点リードで前半を終了する。
後半	後半はCUBのスローオフで試合開始。AUS開始早々退場となり、この7mスローをCUBが決めて10点リード。AUSもポストシュートですぐさま取り返す。CUBはNo.10がRWから得点。その後も1対1の突破などで点差を広げる。AUSは6分過ぎにNo.8が失格となる。ピンチになったAUSは逆に速攻やサイドからの攻撃で食い下がり、10分が過ぎてもその差は依然12点。中盤に入り、今度はCUBのNo.24が失格となった。AUSは7mスローを決め追い上げるが、CUBもNo.8のポストシュートやGKのナイスセーブから速攻を次々に繰り出し連続得点をあげ、その差を18点とする。16分過ぎにAUSはタイムアウトを申請。しかしその後もCUBはNo.55のブレイクスルーや速攻などで加点していく。一方AUSもNo.17のサイドからの攻撃で反撃する。5分を切ったところで、CUBがこの試合最大の23点と大きくリードを奪う。最後、AUSはGKNo.19のナイスセーブやNo.7、11のブレイクスルーで連続得点したが、CUBが20点差で勝利する。	



戦況作成者

松本 政之